



日本受精着床学会

Japan Society of Fertilization and Implantation

第29回日本受精着床学会総会学術講演会

開催日：平成23年9月9日～10日

会場：東京新宿 京王プラザホテル



今学会では入社以来、初めて学会発表を経験しました。

初日の朝のセッションだったので、受付などを終えた後あっという間に自分の番になり、そのおかげでかどうか、想像していたよりは緊張せずに臨めました。

発表後、座長の先生から幾つか質問がありましたが、いずれも想定の範囲内でしたので何とか答える事ができました。しかし学術的な質疑応答にしては言葉足らずな部分や、説明不足だったなど後で感じる部分があり、自分の持っている知識や意見を、瞬時にその場で的確な語彙を用い他者に伝える事の難しさを感じました。院内で取り組んできた発表のための事前練習の際、院長から「自分たちが伝えたい事柄は、読むのではなく語る」のだと指導を受けていましたが、発表を終えて、その意味がわかりました。ただ原稿を読んでいるだけでは、文字を追っているに過ぎず、聴く人に訴えるものにはなりにくいとわかりました。今回の経験をもとに、自分たちの業績を遺憾なくアピールしていくための「語る」スキルを高めで行きたいと強く感じました。

＜生殖伊医療科/河井綾美＞

本学会では、井庭医師も発表を行いました。また生殖医療科部長 岩田はシンポジウムのセクションでシンポジストとして抜擢され教育講演を行うなど、当院としてかなり存在感あふれる活動を行いました。



日々の診療業務と同時にこういった学会活動を行っていくため、1日が24時間ではとても足りない！という毎日なのですが、自分たちの地道な努力が、必ず未来の生殖医療に繋がっていくのだと信じて邁進してまいります。

(2011.9.19 報告)